



関東ジュニア大会 18歳以下
男子単優勝
井上 晴 選手



関東ジュニア大会 18歳以下
女子単優勝
小堀 桃子 選手

CONTENTS

「錦織選手の活躍と達成感」

関東テニス協会 鏡味 徳房 会長	3
第88回 関東オープンテニス選手権大会	4
第88回 関東ジュニアテニス選手権大会	5
第32回 第一生命 全国小学生テニス選手権大会	8
ATF 14/U須玉国際ジュニアテニス選手権大会2014	9
第18回 指導者のためのリフレッシュ講習会	9
第41回 全国中学生テニス選手権大会	10

平成26年度全国高等学校総合体育大会	10
ダンロップ全日本ジュニアテニス選手権'14	11
第10回 グラスホパー全国ジュニアテニスin佐賀	12
第53回 関東実業団対抗テニス選手権大会	13
第29回 関東実業団対抗テニスリーグ戦	13
第38回 全日本都市対抗テニス大会	14
第69回 長崎がんばらんば国体2014テニス競技	14
委員会よりお知らせ	15

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

新「X」時代はじまる。

パワーだけじゃない、スピンだけじゃない、
勝利をつかむX-BLADE

X-BLADE vx Series

■ X-BLADE VX 310 ¥32,000+税
重量 310 g (平均) フェイスサイズ 99 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX 305 ¥32,000+税
重量 305 g (平均) フェイスサイズ 98 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX-R 300 ¥30,000+税
重量 300 g (平均) フェイスサイズ 100 inch² ラケット長 27 inch

■ X-BLADE VX-R 290 ¥30,000+税
重量 290 g (平均) フェイスサイズ 100 inch² ラケット長 27 inch

■ 表示価格はメーカー希望小売価格で、参考価格です。

ブリヂストンスポーツ株式会社

商品のお問い合わせはお客コールセンター 0120-116613 受付時間:月~金(祝日・当社指定休日は除く)10:00~17:30

www.bs-tennis.com

「錦織選手の活躍と達成感」



全米オープンで錦織選手が準優勝という、世界の4大会で日本人初めての快挙をなすとげました。世界第6位のラオニッチ選手との4時間10分の激闘を制し、日本人としては92年振りの全米8強。世界第4位のワウリンカ選手との4時間15分の激闘を制し97年振りの全米4強。そして世界1位のジョコビッチ選手を2時間52分で撃破し、日本人初めての決勝進出。これを日本人を含め世界中の誰が予想したであらうでしょうか。

決勝では直前に世界12位に上がったとは言え、直前に8位となった錦織選手にとっては格下のチリッチ選手に1時間54分で残念ながら敗退しました。その後の記者会見やインタビューを聞き、敗因は素人の私なりに解った気がしました。準決勝で世界1位のジョコビッチ選手を破ったことで、錦織選手の世界的上位ランクの強豪を激戦で破るという目標が3回連続して達成されました。しかも3回目の相手は世界1位であったので目標達成の喜びが絶頂に達し、その後もしばらく興奮が続いたため、格下相手の決勝に勝つという目標切り替えは頭では出来ていても身体に指令が行きわたらず、思うような動きができなかったのではないのでしょうか。「試合に入り込めなかった。(自分よりランクが上の)フェデラー選手の方がやり易かったかもしれない。」という敗戦後の感想がまさにそれを物語っています。

達成感がマイナスに働いた例は水泳のオリンピック金メダリスト北島康介選手にもあったと脳医学者の林成之日本大学教授は著書で述べています。アテネオリンピックで2種目の金メダルを取った後、北京オリンピックでの連覇を目指して練習をしていたが、最後に失速を繰り返し思うような結果が得られない。練習不足ではないかなどと不当な非難もあり悩んでいるところで林教授の助言があった。子供の時から身についた泳法はゴールの5メートル手前のラインを意識するものであったが、そのラインを見ると達成感が無意識に生じ、頭はラストスパートをかけているのだが、体はすでにゴールに到達した動きになってしまう。したがってゴール板に両手を着けて初めて達成したという意識をもつように練習したらよいという助言でした。その後北京で連覇を果たし達成感が絶頂に達した結果、脳内にドーパミンという物質が溢れ「チョー気持ちイイ」という有名な発言が生まれました。「両手でゴール板にタッチするまで全力で泳いだ。」という優勝後の発言が目標設定の適切さを示しています。

錦織選手は敗戦後の記者会見で次回も全米オープンの決勝戦の舞台に立ちたい。そして米国で修行をさせてもらった恩人の盛田前日本テニス協会長の目の前で優勝したいという新たな目標を表明しました。日本に帰国した際には、これから出場する一つ一つのトーナメントで好成績を収め、世界1位になりたいという夢を語りました。その後、マレーシア・オープンやジャパン・オープンで優勝し、更にマスターズ・パリ大会で好成績を上げ、年間成績上位8名によるツアーファイナルにアジア勢では初めて出場し、準決勝に進出するなど着実に実力を磨いています。

努力を続けるには、一つ一つの目標を達成し、その都度喜びを味わうことがエネルギーになります。他人(恩人)に喜んでもらいたいという全米オープン優勝の目標は達成できれば自分を満たす大きな喜びになるでしょう。世界1位になるという夢は大きくて達成可能性がどのくらいあるのか判りませんが、筑波大学の村上和雄名誉教授が著書で述べているように前向きに努力を続けていると火事場で馬鹿力が出るような現象が生じ、本当に夢が実現するかもしれません。

錦織選手の更なる活躍を期待するとともにテニスに関係する皆様がそれぞれ適切な目標を設定し、努力を積み重ねることで日本のテニス界が益々活気に満ちて発展することを祈念いたしております。



関東テニス協会会長
鏡味 徳房

第88回関東オープンテニス選手権大会



一般の部は、天候に恵まれ順調に終了する事ができました。

男子シングルスは、初の学生同士の決勝となり、大接戦の末、近藤選手が初優勝。ダブルスも新鋭プロ-藤木選手と学生の喜多選手が慶應義塾大学ペアを制し、初優勝しました。

女子シングルスは躍進著しい山梨学院大学の久次米選手が前年度早稲田大学のキャプテン長谷川選手を制し、山梨県勢として初優勝しました。

ダブルスは慶應義塾大学ペア同士の決勝となり、池田・西本ペアが初優勝しました。

今大会では若手、特に学生選手の活躍が目立ち、今後の躍進が期待される大会でした。

2014年5月19日(月)～5月25日(日)

有明テニスの森公園テニスコート

○一般男子シングルス

熊谷 宗敏 (リコ)	}	近藤	}	近藤
近藤 大基 (慶應義塾大学)				
大友 優馬 (法政大学)	}	大友	}	76(4)・75
田中 亮寛 (亜細亜大学)				

○一般男子ダブルス

喜多 文明 (リコ)	}	一藤木・喜多	}	一藤木・喜多
酒井 祐樹 (リコ)				
一藤木 貴大 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	}	井上・近藤	}	62.36[11-9]
喜多 元明 (日本体育大学)				
渡邊 将司 (慶應義塾大学)	}	近藤	}	76(4)・75
谷本 真人 (慶應義塾大学)				
井上 善文 (慶應義塾大学)				
近藤 大基 (慶應義塾大学)				

○一般女子シングルス

荒川 晴菜 (吉田記念テニス研修センター)	}	長谷川	}	久次米
長谷川 茉美 (伊予銀行)				
馬場 早莉 (早稲田大学)	}	久次米	}	63.61
久次米 夏海 (山梨学院大学)				

○一般女子ダブルス

入江 真子 (専修大学)	}	池田・西本	}	池田・西本
前原 まりあ (青山学院大学)				
池田 玲 (慶應義塾大学)	}	安形・藤岡	}	61.64
西本 恵 (慶應義塾大学)				
安形 玲耶 (慶應義塾大学)	}	近藤	}	76(4)・75
藤岡 莉子 (慶應義塾大学)				
水沼 茉莉 (法政大学)				
江見 優生乃 (法政大学)				

ベテランの部は、全日本ベテランに次ぐベテランJOPのBグレード大会として、男子は35歳以上～80歳以上の単複20種目、女子は40歳以上～75歳以上(75歳は複のみ)の単複15種目、合計35種目に、全国から1421人(組)の選手が参加、雷雨もありましたが、各会場で熱戦が繰り広げられました。

来年に向けては、参加枠の拡充とともに、生涯スポーツとして、より選手に配慮した運営を心がけていきたいと考えています。

2014年5月19日(月)～6月1日(日)

有明、大宮、千葉、小田原、群馬、昭和の森の6会場

第88回関東オープンテニス選手権大会ベテランの部

男子35歳以上S	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
男子35歳以上D	佐藤 靖高(クラブU. T. A.)
男子40歳以上S	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
男子40歳以上D	渡邊 哲(エリステニスクラブ)
	渡邊 哲(エリステニスクラブ)
	高橋 良昌(新松戸 山喜)
男子45歳以上S	輿石 龍児(川口市役所)
男子45歳以上D	太田 茂晴(Leads)
	輿石 龍児(川口市役所)
男子50歳以上S	原口 浩二(ヨネックス)
男子50歳以上D	佐藤 幸裕(S・T・P)
	辻 孝彦(南町田アゼリアテニススクール)
男子55歳以上S	山田 啓司(イースタンTC)
男子55歳以上D	廣岡 孝通(プロ・KPI)
	佐藤 明彦(リベラ仙台)
男子60歳以上S	川畑 俊英(チームT・K)
男子60歳以上D	川畑 俊英(チームT・K)
	麦 富栄(横須賀ダイヤランドテニスクラブ)
男子65歳以上S	前田 克己(千葉園田テニスクラブ)
男子65歳以上D	柳川 嘉夫(小平T.C.)
	郡司 東男(金子GTA)
男子70歳以上S	水田 浩(殿山テニスガーデン)
男子70歳以上D	今中 隆雄(ブルドンウィン)
	赤坂 欽一(名細テニスクラブ)
男子75歳以上S	生川 芳久(東京ローンテニスクラブ)
男子75歳以上D	前田 忠昭(東京ローンテニスクラブ)
	藤井 道雄(東京ローンテニスクラブ)
男子80歳以上S	久道 常正(盛岡GTC)
男子80歳以上D	森田 徹(川崎テニスクラブ)
	芳賀 芳男(新座ローンテニスクラブ)
女子40歳以上S	笠井 和子(松原テニスクラブ)
女子40歳以上D	笠井 和子(松原テニスクラブ)
	渥美 美和子(イースタンテニスクラブ)
女子45歳以上S	高橋 えみ子(テニスプロジェクト)
女子45歳以上D	鎌田 桂子(TPP)
	竹中 友美恵(中野区テニス連盟)
女子50歳以上S	井上 尚美(鎌倉宮カントリーT.C.)
女子50歳以上D	青木 明美(Y. S. C.)
	橋場 治子(明治神宮外苑テニスクラブ)
女子55歳以上S	小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
女子55歳以上D	佐谷 真理(プロ・ミズノ)
	小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
女子60歳以上S	秋本 晶子(国府台テニスガーデン)
女子60歳以上D	奥村 なな子(相模原グリーンテニスクラブ)
	林 栄子(相模原グリーンテニスクラブ)
女子65歳以上S	金澤 博子(京王テニスクラブ)
女子65歳以上D	細江 幸子(ルネサンス鷹之台テニスクラブ)
	波多野 洋子(SOTC)
女子70歳以上S	高橋 和子(武蔵野ローンテニスクラブ)
女子70歳以上D	岩崎 紀久代(双実テニスクラブ)
	麻生 みね子(あたごテニスクラブ)
女子75歳以上D	八木 幸子(高井戸ダイヤモンドテニスクラブ)
	山下 博子(相模原グリーンテニスクラブ)

第88回関東ジュニアテニス選手権大会

2014年7月19日(土)~7月24日(木) 予備25日(金) 会場:アポロコーストテニスクラブ



○ 18歳以下男子シングルス

倉島 大志 (HSM)				
加藤 彰馬 (横浜清風高校)	62.62			
田中 凛 (東海大学菅生高校)		64.64		
恒松 優也 (MTSフーズアリア三鷹)		75.64		
斎藤 和哉 (東海大学菅生高校)				
小斐 直登 (自由ヶ丘インターナショナルテニスカレッジ)	62.67 (4).64			
小見山 僚 (東海大学菅生高校)				
井上 晴 (TEAM YONEZAWA)	64.64			
			井上 晴	62.63
				62.67 (3).61

○ 18歳以下男子ダブルス

小見山 僚 (東海大学菅生高校)				
田中 凛 (東海大学菅生高校)				
本間 春樹 (川越東高校)				
小林 雅哉 (グリーンテニスプラザ)				
畠山 成亨 (湘南工科大学附属高校)				
山崎 瑛二 (慶応義塾高校)				
徳本 翔 (湘南工科大学附属高校)				
齋藤 聖真 (湘南工科大学附属高校)				
			小見山・田中	75.63
				64.61
			徳本・齋藤	46.62.63

○ 16歳以下男子シングルス

綿貫 陽介 (グローバルプロテニスアカデミー)				
坂野 唯 (狹江インドアジュニアATPチーム)				
渡邊 裕輝 (志津テニスクラブ)				
川橋 勇太 (町田ローンテニスクラブ)				
田中 優之介 (秀明英光高校)				
窪田 緑 (ミナミグリーンテニスクラブ)				
加藤 拓巳 (荏原SSC)				
宮本 大勢 (志津テニスクラブ)				
			綿貫 陽介	61.61
				60.64
			川橋 勇太	61.62
				64.61
			田中 優之介	64.57.76.69
				64.61
			宮本 大勢	75.64

○ 16歳以下男子ダブルス

川橋 勇太 (町田ローンテニスクラブ)				
福島 晴 (京王赤城アカデミー)				
綿貫 陽介 (グローバルプロテニスアカデミー)				
木元 風哉 (グローバルプロテニスアカデミー)				
加藤 拓巳 (荏原SSC)				
井沼 太一 (荏原SSC)				
坂野 唯 (狹江インドアジュニアATPチーム)				
西谷 有祐 (狹江インドアジュニアATPチーム)				
			綿貫・木元	61.61
				75.63
			加藤・井沼	61.63

○ 14歳以下男子シングルス

白石 光 (有明ジュニアテニスアカデミー)				
露崎 翔太 (アートヒルテニスクラブ)				
清水 健二郎 (有明ジュニアテニスアカデミー)				
丹下 将太 (KCJテニスアカデミー)				
川上 倫平 (ACE Tennis Club)				
伊藤 竹秋 (グリーンテニスプラザ)				
木本 涼介 (むさしの村ローンテニスクラブ)				
森田 健介 (チームZIP)				
			白石 光	61.61
				64.64
			清水 健二郎	63.75
				76(5).26.64
			伊藤 竹秋	75.63
				62.64
			木本 涼介	46.61.62

○ 14歳以下男子ダブルス

坂川 広樹 (楠クラブ)				
赤西 大樹 (初石テニスクラブ)				
保坂 駿太 (エストテニスクラブ)				
齋藤 聖 (エストテニスクラブ)				
小山 真生 (昭和の森ジュニアテニススクール)				
山口 凌 (昭和の森ジュニアテニススクール)				
白石 光 (有明ジュニアテニスアカデミー)				
清水 健二郎 (有明ジュニアテニスアカデミー)				
			保坂・齋藤	75.26.62
				62.63
			白石・清水	75.62



優勝 井上 晴 (TEAM YONEZAWA) 左
大会に参加した大きな理由は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場するためです。勝ち上がるために攻めと守りの切り替えを早く決断し、コートを広く使用して相手のコートにオープンコートを作り攻略することに努めた。優勝の喜びはコーチと両親に伝えたい。将来の目標はプロの選手を目指すこと。



優勝 綿貫 陽介 (グローバルプロテニスアカデミー) 左
大会参加の大きな理由は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場するためです。練習の課題はフォアハンド ストロークの強化に努めました。優勝の喜びは両親、コーチに伝えたい。将来の抱負は全日本ジュニアに優勝し、グランドスラムに出場できる選手になりたい。



優勝 伊藤 竹秋 (グリーンテニスプラザ) 左
大会参加の目的は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場するためです。勝ち上がるための課題は試合が競った時に粘ることを特に練習しました。優勝の喜びは所属チームの仲間と家族 (両親) に伝えたい。将来はグランドスラムに出場したい。今後も一層の練習を重ねて行きたいです。

○ 12歳以下男子シングルス

吉村 大生(志津テニスクラブ)	64.61	吉村 大生 61.64	吉村 大生 63.63
鈴木 久統(荏原SSC)			
飯泉 涼(CSJ)	26.60/60	石井 涼太 26.60/60	
石井 涼太(INABA T.S.)			
松尾 滉哉(神栖TI-Cube)		間仲 啓 26.63/75	間仲 啓 76(0),76(3)
間仲 啓(むさしの村ローンテニスクラブ)			
望月 慎太郎(IHSMレニックス)		木村 優希 46.64/63	
木村 優希(京王赤城アカデミー)			

○ 12歳以下男子ダブルス

吉村 大生(志津テニスクラブ)	村松・石井 06.61/62	飯泉・加藤木 64.60
渡辺 堯(吉田記念テニス研修センター)		
村松 陸(あじさいインドアTS)	飯泉・加藤木 64.36/64	
石井 涼太(INABA T.S.)		
飯泉 涼(CSJ)	望月 滉太郎(IHSMレニックス)	望月 慎太郎(IHSMレニックス)
加藤木 塁(大洗ビーチテニスクラブ)		

○ 18歳以下女子シングルス

牛島 里咲(高崎テニスクラブ)	63.63	牛島 里咲 62.76(5)	小堀 桃子 46.64/75
三角 ゆりあ(国府台女子学院)			
森崎 可南子(ビッグKテニス)	36.64/62	福田 詩織 60.36/61	小堀 桃子 36.61/62
大河 真由(フミヤエース市川テニスアカデミー)			
辻 紘子(たちかわジュニアテニスアカデミー)		福田 詩織 60.36/61	小堀 桃子 36.61/62
福田 詩織(自由丘インターナショナルテニスカレッジ)			
押野 紗穂(KCJテニスアカデミー)		小堀 桃子 63.64	
小堀 桃子(IHSM)			

○ 18歳以下女子ダブルス

鈴木 葵(吉田記念テニス研修センター)	鈴木・大河 63.63	鈴木・大河 61.62
大河 真由(フミヤエース市川テニスアカデミー)		
野田 風葉(IHSM)	高橋・鈴木 26.63/63	
大川 雪菜(桜田倶楽部MTSジュニアアカデミー)		
廣川 真由(浦和学院高校)	高橋・鈴木 26.63/63	
南 文乃(浦和学院高校)		
高橋 未来(IHSMレニックス)	鈴木 舞(バームインターナショナルテニスアカデミー)	
鈴木 舞(バームインターナショナルテニスアカデミー)		

○ 16歳以下女子シングルス

清水 綾乃(高崎テニスクラブ)	16.63/64	清水 綾乃 62.62	清水 綾乃 64.63
浅野 いず美(荏原SSC)			
倉持 美穂(霧が丘アップテニスアカデミー)	62.46/75	宮本 愛弓 62.46/75	
宮本 愛弓(志津テニスクラブ)			
荒川 晴菜(吉田記念テニス研修センター)		岩井 真優 75.61	岩井 真優 64.62
岩井 真優(サムライテニス)			
大石 真珠美(BEAT TENNIS CLUB)		本玉 真唯 36.64/61	
本玉 真唯(町田ローンテニスクラブ)			

○ 16歳以下女子ダブルス

岩井 真優(サムライテニス)	岩井・力石 61.75	藤岡・竹内 26.62/62
力石 優衣(フミヤエース市川テニスアカデミー)		
村橋 舞(桜田倶楽部MTSジュニアアカデミー)	藤岡・竹内 64.64	
都筑 はるな(自由丘インターナショナルテニスカレッジ)		
藤岡 佑(吉田記念テニス研修センター)	藤岡・竹内 64.64	
竹内 菜々花(吉田記念テニス研修センター)		
細木 祐佳(TeamSatellite)	本玉 真唯(町田ローンテニスクラブ)	
本玉 真唯(町田ローンテニスクラブ)		



優勝 吉村 大生(志津テニスクラブ) 左
大会参加の目的は全日本ジュニアテニス選手権大会の出場権を獲得するためです。勝ち上がるためにサービスのスピードを上げる事、コースの打ち分け方の課題に取り組みクリアした。優勝の喜びは家族、コーチ、友達に伝えたい。全日本ジュニアテニス選手権大会は将来のための通過点だから優勝したい。



優勝 小堀 桃子(IHSM) 左
大会に参加した大きな理由は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場するためです。勝利するための課題はサーブ、リターンへのミスを抑える事でした。粘り強いプレーを行うことに努めた。優勝の喜びはコーチ、家族、クラブの友達に伝えたい。将来への抱負はオリンピックの選手を目指すこと。



優勝 清水 綾乃(高崎テニスクラブ) 左
大会参加の大きな理由は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場することです。勝ち上がるための課題はサービスの強化とネットプレーに重点を置いて練習を行った。優勝の喜びはコーチや家族に伝えたい。全日本ジュニアでは自分のプレーをして納得のいく結果を出すことです。

○ 14歳以下女子シングルス

櫻井 雪乃 (PCAジュニアテニスアカデミー)	櫻井 雪乃		
矢崎 梓紗 (グリーンテニスプラザ)	75.46,76(9)	櫻井 雪乃	63.64
松田 望愛 (昭和の森ジュニアテニススクール)	犬塚 あおい	63.76(7)	
犬塚 あおい (昭和の森ジュニアテニススクール)			安藤 優希
西郷 里奈 (志津テニスクラブ)	西郷 里奈		64.61
湯浅 里帆 (高崎テニスクラブ)	60.61	安藤 優希	63.63
奥石 亜佑美 (川口市テニス協会ジュニア)	安藤 優希	64.64	
安藤 優希 (たちかわジュニアテニスアカデミー)			

○ 14歳以下女子ダブルス

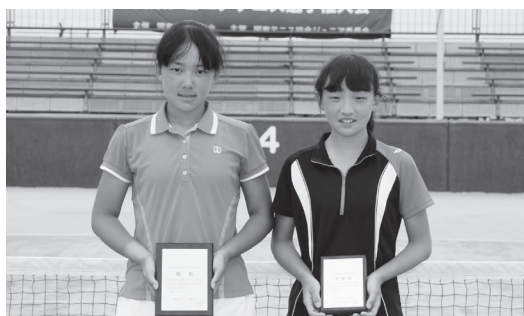
松田 望愛 (昭和の森ジュニアテニススクール)	安藤 優希 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	松田・安藤	61.64
奥石 亜佑美 (川口市テニス協会ジュニア)	千原 葉歩 (みばりヶ丘新豊テニスクラブ)		
西郷 里奈 (志津テニスクラブ)	中山 麗未 (初石テニスクラブ)	西郷・中山	75.36,76(4)
小林 ほの香 (荏原SSC)	柴谷 優衣 (荏原SSC)		36.62,62

○ 12歳以下女子シングルス

武部 せな (CSJ)	武部 せな		
池田 涼子 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	61.62	武部 せな	63.63
カジュール オヴィ (武蔵野ドームテニススクール)	カジュールオヴィ	64.63	
松田 絵理香 (IHSMレニックス)			武部 せな
井實 彩乃 (京王赤城アカデミー)	井實 彩乃		61.62
中山 桜季 (ロイヤルSCテニスクラブ)	63.61	井實 彩乃	64.46,64
宮地 蘭 (霧が丘アップテニスアカデミー)	伊藤 汐里		
伊藤 汐里 (グリーンテニスプラザ)	76(10),61		

○ 12歳以下女子ダブルス

カジュール オヴィ (武蔵野ドームテニススクール)	井實 彩乃 (京王赤城アカデミー)	カジュール・井實	62.75
大沼 愛弥 (Team YUKA)	松田 絵理香 (IHSMレニックス)		
武部 せな (CSJ)	申 ジホ (KCJテニスアカデミー)	武部・申	75.63
金子 さら紗 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	池田 涼子 (たちかわジュニアテニスアカデミー)		62.63



優勝 安藤 優希 (たちかわジュニアテニスアカデミー) 左
大会参加の目的は全日本ジュニアテニス選手権大会に出場するためです。勝ち進むための課題はどんな時でも守りにならないこと、いつも前向きにプレーすることです。優勝の喜びは家族(両親)、コーチに伝えたい。将来はグランドスラムの大会、オリンピックに出場したいと思っています。



優勝 武部せな (CSJ) 左
全日本ジュニアテニス選手権に出場するために参加しました。全国選抜大会の決勝戦で思った通りのプレーが出来なくて、全日本ジュニアテニス選手権大会でリベンジしたかったからです。勝ち上がるための課題はあまり決めを急がずに相手を崩して決めること。優勝の喜びは日頃サポートしていただいた家族(父親)、コーチ、に感謝して伝えたい。将来の抱負はグランドスラム優勝を狙いたい。オリンピックに出場したい。



第32回第一生命全国小学生テニス選手権大会

平成26年7月28日(月)~30日(水) 会場:第一生命相模園グラウンドテニスコート



関東地域からは男子12名、女子15名が出場した。このうち、ベスト8には男子4名、木村優希(東京)、飯泉涼(茨城)、望月慎太郎(神奈川)、鈴木久統(神奈川)が勝ち進み、女子は4名、井實彩乃(東京)、池田涼子(東京)、河野瑞生(東京)、伊藤汐里(埼玉)が勝ち残った。男子準決勝では、望月が男子優勝者の三井駿介(静岡)に敗れ、飯泉も小柴遼太郎(兵庫)に敗れ、ともに3位に終わった。女子準決勝では、池田と伊藤が対戦し伊藤が決勝に勝ち進んだ。

男子決勝は三井がドロップショットを織り交ぜながら、しっかりと打ち切って、小柴を寄せ付けずに優勝した。

女子決勝は川口夏美(長崎)と伊藤の対戦になったが、第一セットはともに良いところ悪いところが出て、5-5まで競ったが、その後は川口が一方的に攻めきって優勝した。

○男子シングルス ベスト4以上

小柴 遼太郎 (神戸市立西脇小学校) 兵庫	_____	_____	_____	_____
飯泉 涼 (つくば市立荃崎第一小学校) 茨城	_____	_____	_____	_____
望月 慎太郎 (川崎市立向小学校) 神奈川	_____	_____	_____	_____
三井 駿介 (清水町立西小学校) 静岡	_____	_____	_____	_____
		小柴 64 62	三井 63 64	三井 64 62

○女子シングルス ベスト4以上

川口 夏実 (佐世保市立相浦小学校) 長崎	_____	_____	_____	_____
井上 愛梨 (山口大学教育学部附属山口小学校) 山口	_____	_____	_____	_____
池田 涼子 (国立市立国立第八小学校) 東京	_____	_____	_____	_____
伊藤 汐里 (埼玉大学教育学部附属小学校) 埼玉	_____	_____	_____	_____
		川口 63 75	伊藤 75 62	川口 75 60



男子左から3人目 3位望月慎太郎(神奈川)
左から4人目 3位飯泉涼(茨城)

女子右から5人目 準優勝伊藤汐里(埼玉)
右から3人目 3位池田涼子(東京)

ATF 14/U 須玉国際ジュニアテニストーナメント2014

2014年7月5日(土)～7月11日(金)山梨県北杜市・クラブヴェルデ



ATF(アジアテニス連盟)14/Uシリーズの唯一の国内大会であります須玉国際ジュニアトーナメントが今年も実施されました。今年で9回目となる今大会も昨年より関東テニス協会公認大会(グレード2)としてリニューアルされ、大会としても充実してきました。また今年にはIPIN登録など不慣れな面もありましたが多くの参加者があり、特に女子は海外からの参戦が目立ちました。今年もウエルカムBBQやプロによるクリニック、セミナーなどのイベントの実施、またヤフーニュースへの掲載などでさらに大会を盛り上げています。

男子シングルス決勝は川上が第6シードの白石を6-3,6-7(5),6-3、女子シングルス決勝は坂詰が第6シードの安藤を6-1,7-6(2)で破り、ともに予選から勝ち上がりの選手が優勝を飾った。川上は男子ダブルスでも優勝し、単複2冠を達成した。

<男子ダブルス>

優勝 川上 倫平(ACE TC)
新井 亮平(ACE TC)
準優勝 白石 光(有明ジュニアTA)
清水 健二郎(有明ジュニアTA)



<女子ダブルス>

優勝 安藤 優希(たちかわジュニアTA)
松田 望愛(昭和の森JTS)
準優勝 ワイユーツアン(香港)
ウエンティエユ(香港)

<写真左から>

男子単優勝の川上倫平(ACE TC)
男子単準優勝の白石光(有明ジュニアTA)
女子単準優勝の安藤優希(たちかわジュニアTA)
女子単優勝の坂詰姫野(ファーストTA)

第18回指導者のためのリフレッシュ講習会



主催:関東テニス協会 公認:(公財)日本テニス協会(JTA)

日時:平成26年7月6日(土曜) 9:00～16:30 会場・協力:日本大学芸術学部所沢校舎・テニス部員

セルフジャッジについての問題点/講師:大久保 範子JTA・A級チーフアンパイア

榎本 正一 関東テニス協会強化普及本部長

テニスのためのコンディショニング/講師:高橋 正則JTA認定スポーツ医科学委員会委員

受講者64名の関心は高く、大会運営、親など様々な立場で問題を抱えている方が多かった。セルフジャッジの重要性を再認識しテニスプレイヤーの全てがルールを十分に理解しマナー守ることを課題として今後とも指導に努める。コンディショニングの講義では、楽しみながら自分の身体を知ることができてとても参考になりました。



第41回全国中学生テニス選手権大会

愛媛県松山市 松山中央公園テニスコート 2014年8月17日(日)~23日(土)



- 団体戦 男子:古豪甲南中(兵庫)に挑んだ慶応湘南藤沢中であつたがあと一步及ばず準優勝となった。ベスト8の内5校を関東地域で占めているが、接戦が多くなり普及が他地域で実りつつあるのを実感させられた。
- 団体戦 女子:第1・第2シードの実力通り東京学館浦安中が城南学園中(大阪)を下し優勝した。男子同様ベスト8の内5校を関東が占めているが傾向としては全く同様と言える。
- 個人戦 男子シングルス:第1シード堀江(岐阜・桜ヶ丘中)が実力を発揮し優勝した。ベスト4に田形(東京・狛江二中)、平野(埼玉・若宮中)が進んだものの一步足りなかったようだ。
- 個人戦 男子ダブルス:第1シード武藤・増田(東京・小平二中)に挑んだ坂野・田形(東京・狛江二中)が接戦の末勝利を取めた。あと1組を加えて3組がベスト8に入ったが、続く選手の奮起を願いたい。
- 個人戦 女子シングルス:第1シード本玉(東京・南大谷中)が実力を発揮し、危なげなく優勝した。この世代からナショナルチームに選抜されるメンバーが出場してくるが他地域の選手達も力の差を感じさせずに挑戦している姿が頼もしく見えた。
- 個人戦 女子ダブルス:ベスト8に3組入るのがやっとという現実でした。島根・開星中の宮内・細木組の優勝は関東地域の選手にとっても参考にすべき「何か?」があるかもしれません。
- 〈総括〉関東中学団体戦から始まり夏休みの連戦最後のイベントであるこの大会。伸び盛りで実力変動の大きな世代である中学生選手、日常の練習・トレーニング・食事・学業と並んでテニス人として必要なエチケット・マナー等にも取り組みましょう。

平成26年度全国高等学校総合体育大会

東京都 有明テニスの森テニスコート 8月2日(土)~8(金)



- 団体戦 男子:地元東京で初優勝を狙った東海大菅生高校が準決勝で柳川高校を2-0で破り、大分舞鶴高校を2-0で破った四日市工高と決勝を戦った。決勝戦はダブルスを先取したものの大接戦のシングルス2敗で涙を呑む結果となったがその健闘は称えられるものであった。
- 団体戦 女子:5連覇を狙う富士見ヶ丘高校を準決勝2-1の大接戦で下した湘南工大附高が、名門園田学園を2-0で下した古豪名経大高蔵高に挑戦した。決勝戦は2-0と完敗したが、それまでの戦いぶりには日頃の成果を感じさせられた。
- 個人戦 男子シングルス:高橋(湘南工大附高)対小林(雅)(東京学館浦安高)という関東勢の決勝戦となった。ナショナルメンバーと地道に努力した選手の戦いということで興味を感じさせたが3セットの結果高橋が勝利を取めた。両者とも2年生であり、他の選手ともども今後に期待したい。
- 個人戦 男子ダブルス:ベスト4の内3組を関東勢で占めたが優勝は山佐・島袋(四日市工高)であった。決勝戦の齋藤・畠山(湘南工大附高)、準決勝の小林・高村(東京学館浦安高)ともストレート負けであり、ダブルスの戦い方に力の差を感じさせられた。尚一層の努力で力を付けて欲しい。
- 個人戦 女子シングルス:伏兵ともいえる伊藤佑寧(東京・日出高)が優勝、準優勝は齋藤(佳)(千葉拓大紅陵)と関東勢となった。さらにベスト4に小堀(大成高)が入っているが、他地域勢の成長は目覚ましいものがあり尚一層の努力を期待します。
- 個人戦 女子ダブルス:森崎・杉本(富士見ヶ丘高)がベスト8に入ったのみであり、力の差は歴然としたものがあり根本的な取り組み方を考えねばならないのではないだろうか。
- 〈総括〉炎天下、団体戦で緊張が続いた後、個人戦で8ゲームを4試合という過酷な日程を強いられる中、頑張って成績を挙げた選手達に敬意と称賛を捧げたいと思います。更に、現況に満足することなく高い目標に向かって挑戦を続けてください。

ダンロップ全日本ジュニアテニス選手権 '14

2014.8.8~8.17. 韃テニスセンター(U14/12は8.13まで江坂テニスセンター)



○18歳以下男子シングルス

越智 真 (関西・神戸学院大学TC)	高橋	
高橋 悠介 (関東・荏原 SSC)	36 61 63	高橋
甲斐 直登 (関東・自由が丘インターナショナルTC)	徳田	26 61 75
徳田 廉大 (関東・荏原 SSC)	67(6) 61 63	

○18歳以下女子シングルス

橘 彩音 (関西・相生学院高)	橘	
押野 紗穂 (関東・KCJ TA)	63 64	小堀
斉藤 佳帆 (関東・きさらづアウルTC)	小堀	60 75
小堀 桃子 (関東・IHSM)	60 75	

○16歳以下男子シングルス

千頭 昇平 (東海・誉高)	千頭	
綿貫 陽介 (関東・グローバルプロTA)	64 61	千頭
窪田 緑 (関東・ミナミグリーンTC)	堀江	62 76(4)
堀江 亨 (東海・関スポーツ塾・T)	60 62	

○16歳以下女子シングルス

村松 千裕 (関東・吉田記念テニス研修センター)	村松	
安部 有紗 (九州・JWSA)	64 60	村松
坂田 季美佳 (関西・テニスエナジー)	坂田	63 76(3)
伊藤 沙弥 (関西・雲雀丘学園高)	67(4) 75 76(7)	

○14歳以下男子シングルス

阿多 竜也 (九州・福岡パシフィック)	森田	
森田 翔一郎 (北信越・西南部中)	46 64 60	白石
白石 光 (関東・有明ジュニアTC)	白石	61 63
市川 泰誠 (関西・ACE TC)	61 64	

○14歳以下女子シングルス

永田 杏里 (東海・南山中女子部)	安藤	
安藤 優希 (関東・たちかわジュニアTA)	64 46 75	佐藤
佐藤 南帆 (関西・COSANA)	佐藤	75 63
奥石 亜佑美 (関東・川口市テニス協会ジュニア)	64 63	

○12歳以下男子シングルス

吉村 大生 (関東・志津TC)	吉村	
木村 優希 (関東・赤城アカデミー)	63 63	三井
三井 駿介 (東海・アトススポーツ)	三井	26 63 63
小柴 遼太郎 (関西・三木ロイヤルTC)	57 62 61	

○12歳以下女子シングルス

川口 夏実 (九州・佐世保LTC)	川口	
伊藤 汐里 (関東・グリーンテニスプラザ)	62 64	武部
木本 海夢夏 (九州・ラフ)	武部	63 75
武部 せな (関東・CSJ)	64 63	

○18歳以下男子ダブルス

逸崎 凱人 (関西・大阪産大附属高)	逸崎・林	
林 大貴 (関西・大阪産大附属高)	63 64	
徳本 翔 (関東・湘南工大附属高)		
齋藤 聖真 (関東・湘南工大附属高)		

○18歳以下女子ダブルス

栗本 麻菜 (関西・相生学院高)	中谷・上	
橘 彩音 (関西・相生学院高)	62 75	
中谷 琴乃 (関西・園田学園高)		
上 唯希 (関西・園田学園高)		

○16歳以下男子ダブルス

宮本 大勢 (関東・志津TC)	田中・田中	
渡邊 裕輝 (関東・志津TC)	75 57 64	
田中 優之介 (関東・秀明英光高)		
田中 陸輔 (関東・秀明英光高)		

○16歳以下女子ダブルス

村松 千裕 (関東・吉田記念テニス研修センター)	藤岡・竹内	
安藤 優希 (関西・テニスエナジー)	62 57 62	
藤岡 佑 (関東・吉田記念テニス研修センター)		
竹内 菜々花 (関東・吉田記念テニス研修センター)		

○14歳以下男子ダブルス

田島 尚輝 (関東・TEAM YONEZAWA)	白石・清水	
青木 一真 (東北・ウイングショット)	16 75 75	
白石 光 (関東・有明ジュニアTA)		
清水 健二郎 (関東・有明ジュニアTA)		

○14歳以下女子ダブルス

松田 望愛 (関東・昭和の森ジュニアTS)	佐藤・久田	
安藤 優希 (関東・たちかわジュニアTA)	63 63	
佐藤 南帆 (関西・COSANA)		
久田 真徳 (関西・COSANA)		

○12歳以下男子ダブルス

村松 陸 (関東・あじさいインドアTS)	村松・石井	
石井 涼太 (関東・INABA T.S.)	61 62	
高木 凌 (東海・さくらTC)		
三井 駿介 (東海・アトススポーツクラブ)		

○12歳以下女子ダブルス

カンジュールオウイ (関東・武蔵野ドームTS)	カンジュールオウイ	
井實 彩乃 (関東・京王赤城アカデミー)	・井實	
武部 せな (関東・CSJ)	62 57 64	
申 ジホ (関東・KCJTA)		

第10回グラスホパー全国ジュニアテニスin 佐賀

—夢はウィンブルドンへ—

2014年8月17日(日)～8月23日(土) 於:グラスコート佐賀テニスクラブ



『夢はウィンブルドンへ』をスローガンにこれから世界に羽ばたくジュニア選手の滞在型選手育成の場として日本で唯一の天然芝コート16面を有する『グラスコート佐賀テニスクラブ』にて、ゴールデンエイジと言われる小学校5・6年生を対象に全国から128名(男子64名、女子64名)の代表選手が1週間寝食を共にし、夢を現実に変えていく様々な体験をしました。

今大会は記念すべき10回目の大会でしたが10年間に1,280名の選手が初めての天然芝でプレーしました。

天然芝のコートは雨で濡れると非常に滑りやすく少量の雨でも完全に乾くまでプレーすることができません。残念ながら今大会は異例の悪天候に見舞われ、初日と最終日以外は天然芝でのプレーはできませんでした。

その為、3セットシングルの試合はできませんでしたが形を変え室内を使用し全員シングルスを行いました。また、1チーム8人、8チームで競い1位から8位まで順位を決めるダブルスのみの団体戦を行い、デビスカップ・フェドカップの雰囲気漂わせながら、オーダーでの作戦・ベンチコーチ・応援等、団体戦の戦い方や楽しさを学びました。

関東代表選手は男子10名・女子10名の20名での参加でしたが、全員がそれぞれのチームで熱い戦いをしました。見事優勝チームに関東代表の選手が男女一名ずつ出ました。優勝チームはメンバー一人一人が表彰され前年度までとは少し違った雰囲気の表彰式となりました。

また近い将来、日本代表でウィンブルドンに出場する選手として技術だけではなくマナーも身につけて人間性を形成して欲しいと願う大会側の強い思いを受けながら選手達は、初日のオリエンテーション後、テニスの歴史やこの大会の目的・マナー・ルールなどを学び、2日目以降はフィールドテスト・ダブルスクリニック・トレーニング指導・天然芝生コートの管理方法を学びました。

夜の講義では日本テニス協会副会長の渡辺康二氏の『何を心がけるか』・ユニバーシアード女子チーム監督の道上静香先生の『自分の身体を知ってテニスに生かそう』・ITF国際審判員の岡村徳之氏の『世界にチャレンジ』・福岡大学スポーツ

科学部の小清水孝子先生の『スポーツ栄養と実践力』などの教育を受けつつ佐賀錦のキーホルダー作り・有田焼の絵付け体験もさせていただき充実した1週間を過ごしてきました。

特に重要な項目、栄養指導については食習慣を身に付ける為のプログラムが徹底していました。毎朝決まった時間に体重を測り、体調や食べたものの全てチェックし滞在期間中数回栄養管理士の方へ提出し指導を受けたり、3食の食事は栄養バランスの知識を詰め込むのではなく自然に自分で選べるように主食・主菜・副菜・果物に分けて置かれ、数種類の中から選んで取るように工夫され、試合や練習時間など自分の目的に合わせた副食のとりかたなど1週間徹底して行うことで習慣になり、長い遠征などでも選手が自分で自己管理が出来るようになるシステムでした。

テニス選手としての睡眠・食事・時間厳守・物品の管理・洗濯など私生活とテニス、切っても切れない自己管理能力も同時に鍛えられ、また、選手たちもそれが必要と感じられた時間だったと思います。

選手たちの目には毎日自分たちのサポートをして下さる方々やこの大会を支えるスポンサーの皆様の思いが常に見えていたと思います。その思いはうわべだけでなく心から相手に感謝する言葉や感謝の眼差しを向ける姿に現れていたと思います。

最後になりましたが、この年齢でこのように貴重な体験をした選手たちが近い将来ウィンブルドンの地で花咲くことを願います。

岡村麻千香



第53回関東実業団対抗テニストーナメント (ビジネスパル・テニス関東大会)

7月19日(土)～20日(日) 会場:埼玉県さいたま市大宮第二公園第一、第二テニスコート



関東8都県から実業団チームの代表、男子16、女子12チームが参加して開催される社会人の大会である。今大会の特徴は、大会運営業務を委託ではなく主管県の埼玉県テニス協会が受け持ったことにより経費を削減、その成果として参加費を大幅低減したことであろう。一方、競技については審判を増員し、準決勝、決勝、3位決定戦はSCU審判体制として、より充実したものになったと思われる。運営を、主管県が全面的に対応するには、業務の標準化、主管県の体制の整備など課題は伴うが、次年度以降も継承することが期待される。

男子・ルネサンスは2年振り2度目の優勝。6位まで第53回全国実業団対抗テニス大会に出場する。

女子・富士通は初優勝。全国大会出場は5位まで、及び1つの補充枠により、第6位のチームも推薦する。

男子	所属	チーム名	女子	所属	チーム名
優勝	千葉	ルネサンス	優勝	東京	富士通
準優勝	茨城	日立 AMS・佐和	準優勝	千葉	日本航空
3位	東京	リコー	3位	東京	ヨネックス
4位	栃木	本田技術研究所	4位	茨城	原子力機構原科研
5位	東京	NTT 東日本・東京	5位	東京	東芝本社
6位	栃木	鹿沼市役所	6位	茨城	日立 AMS・佐和
7位	埼玉	本田技術研究所			
8位	神奈川	キャノン矢向			

第29回関東実業団対抗テニスリーグ戦

9月5日(金)～7日(日) 会場:山梨県小瀬スポーツ公園テニスコート



全国実業団対抗A大会、テニス日本リーグにつながる大会である。関東1都7県から男子16チーム、女子12チームが参加。今大会で特筆すべきは、男子で栃木県のチームが最終日に残り、首都圏と周辺の差が縮まることを期待できたことである。課題は女子で、首都圏外からの参加チームが減少し続けており、更なる運営の工夫が必要と思われる。一方、山梨県の公認ゆるキャラ“武田菱丸”が大会マスコットで登場し、開催地と大会のPRに貢献、菱丸によるジャンケンゲームでは懇親夕食会がおおいに盛り上がりました。ところで、大会期間中に、錦織圭選手が全米オープンで活躍(準優勝)しましたが、本大会開催は、まさに時宜を得たものであり、日本テニスの発展に繋がると強く感じました。稿を終えるにあたり本大会運営関係者各位の多大なる御協力、御支援に深謝致します。

最終順位表

男子	チーム	都県名	女子	チーム	都県名
1位	テニスユニバース	東京	1位	ウインザー	神奈川
2位	東京海上日動	東京	2位	ヨネックス	東京
3位	三井住友海上	東京	3位	NTT データ	東京
4位	三菱マテリアル	東京	4位	三菱東京 UFJ 銀行	東京
5位	ケー・テー・シー	千葉	5位	みずほフィナンシャルG	東京
6位	名戸ヶ谷病院	千葉	6位	横浜市役所	神奈川
7位	栃木県	栃木			
8位	NIPPO	東京			



《武田菱丸》

女子、ウインザーは、3年連続5回目の優勝。全国大会には5位までのチーム及び、ダイレクト・アクセプト・アクセプトの下記3チームも出場する。

- 男子、テニスユニバースは初出場、初優勝。男子は3位まで、全国実業団対抗テニストーナメントに出場する。
- (1) 三井住友銀行大手町(東京)
 - (2) 東京海上日動(東京)
 - (3) 日本航空(千葉)

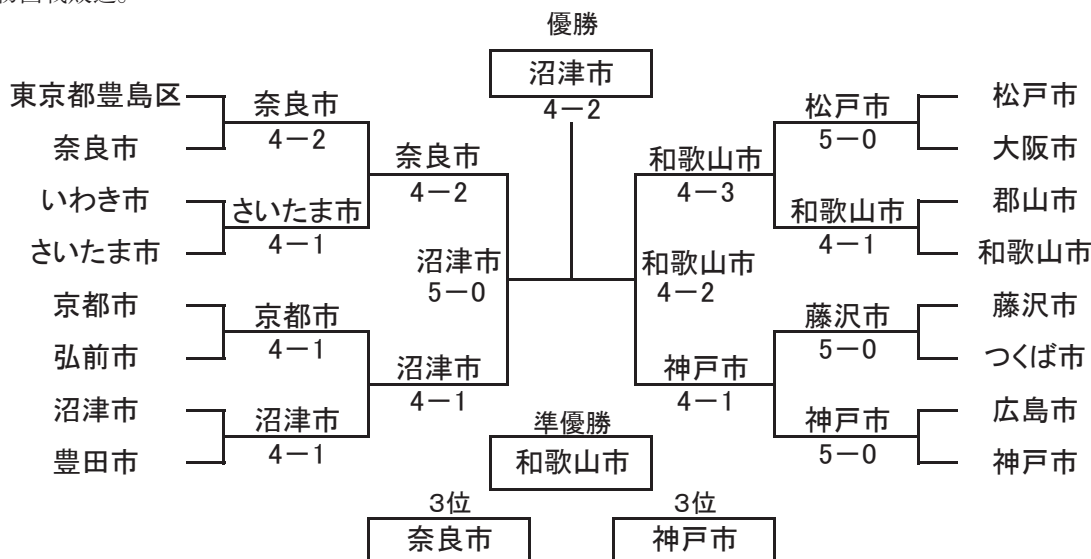
第38回全日本都市対抗テニス大会

(紀の国わかやま国体2015テニス競技リハーサル大会)

2014年7月25日(金)～27日(日) 於:和歌山市立つつじが丘テニスコート



関東地区は前年大会成績上位により、8都県すべての代表チームが出場し、3チームがベスト8入賞、この内、松戸市は3年連続の入賞、さいたま市は2年ぶり、藤沢市は初回戦宇都宮市、次につくば市といずれも関東勢との対戦であった。昨年まで2年連続優勝の東京都豊島区は2回戦まで、前橋市、甲府市は初回戦敗退。



第69回長崎がんばらんば国体2014テニス競技

2014年10月13日(月)～16日(木) 於:長崎市総合運動公園かきどまり庭球場&長崎市宮庭球場



関東勢は女子の活躍が目覚ましく、成年女子1位 山梨、2位 茨城、3位 埼玉、5位 神奈川。少年女子1位 東京、3位 千葉、6位 群馬で、他の地域を圧倒。男子は、成年、少年、ともに8位入賞が2県ずつに留まった。

テニス競技天皇杯(男女総合成績)は、2位 東京を筆頭に埼玉、千葉、山梨の4都県が8位内入賞。

テニス競技皇后杯(女子総合成績)は、1位 東京・山梨に続いて茨城、埼玉、千葉の5都県が入賞。

次年度国体参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。第70回紀の国わかやま国体2015の参加枠は、成年男子6枠、成年女子8枠を獲得している。女子は昨年引き続き、国体関東予選が不要となる。

第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体2014)テニス競技1位～8位 成績一覧表

	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		天皇杯(男女総合)		皇后杯(女子総合)
1位	和歌山県	山梨県	三重県	東京都	1位	三重県	1位	東京都
2位	大阪府	茨城県	静岡県	沖縄県	2位	東京都	1位	山梨県
3位	三重県	埼玉県	京都府	千葉県	2位	大阪府	3位	茨城県
4位	愛媛県	愛知県	大阪府	島根県	4位	埼玉県	3位	沖縄県
5位	埼玉県	神奈川県	東京都	兵庫県	5位	千葉県	5位	埼玉県
6位	神奈川県	愛媛県	愛知県	群馬県	5位	山梨県	5位	千葉県
7位	福岡県	岐阜県	千葉県	富山県	5位	愛知県	7位	愛知県
8位	新潟県	大分県	福岡県	大分県	5位	和歌山県	7位	島根県
					5位	愛媛県		

委員会よりお知らせ



《賛助会員の募集について》

関東テニス協会では、次世代を担うジュニアの育成のための費用として、ご寄付いただく賛助会員制度があります。皆様から1口1万円のご協力を得て有効な強化施策を実行いたしております。現在70名弱の会員からご支援をいただいておりますが、更なる増員をお願いいたしております。詳しくは関東テニス協会のホームページ内募集趣意書をご高覧いただきますようお願いいたします。(<http://www.kanto-tennis.com>)

《審判委員会》

審判委員会事業として、関東ジュニア大会、毎日テニス選手権大会、ベテランミックス大会の審判派遣、ルール講習会の主催、年3回の委員会を行っています。

大会の初日から3日間48名の審判員が必要な千葉県白子会場の関東ジュニア大会では毎年各都県の多大なご協力を得て審判員を派遣し大会の円滑な運営に協力しています。

ルール講習会は、来年3月8日(日)開催予定です。多勢の方の参加お待ちしております。(講師 川廷尚弘氏、場所は未定)

年3回の委員会では各都県が大会報告をし、その中で生じたトラブル、ルールの問題点などを話し合い、関東八都県が同じ見解を持って大会運営を進められるようにしています。



第88回関東ジュニア選手権大会18歳女子シングルス決勝戦の試合前プレマッチミーティング

《ジュニア大会運営委員会》 委員長 富岡好平

私達の委員会は、関東テニス協会強化普及本部の中の委員会に属します。主な業務は、関東ジュニアを始めとする関東テニス協会主催大会(小学生大会、全国選抜ジュニア、RSK全国選抜、中牟田杯、KTA杯)の運営と、共催事業(ATF須玉国際ジュニア)を行っています。

また現在8都県で18,000名の登録者があり、大会としては、各都県予選(38大会)以外で79大会の公認大会を有します。関東地区のジュニア公認大会の構築と統括、さらにこれらの大会結果を元に8都県を包括するランキング制度を全国に先駆けて運営しており、全国的にも先進地区と自負しております。

この様な競う環境を提供できている事、熱心な指導者が多くいる事により、各種全国大会において上位を占める地位を築いています。今後は東京オリンピックとその後を見据えながら、世界を意識した取り組みが更に必要となってきます。

一方P+Sテニスなどの普及活動により増えている愛好者が、次のステップに進んでももらえるようなもっと簡単な入門大会の必要性や個人登録1年制などを検討しています。

しかしこの様な状況に反し、近年様々な問題を抱えております。これまで取り組んできた「会場でのごみの散乱」「コールをしない」「平気で大会を途中棄権する」などが、今後の大きな課題となっています。この様な現状を改善していくため、粘り強い啓蒙活動を行うと共に制度上の問題点の検討に取り組んでいます。またテニス競技の諸規定は分かり難いと言われますが、より明文化をはかっていきたいと考えております。引き続きご理解とご協力をお願いします。

なおこの場を借りて来年度からの変更点・再度確認点をご報告します。

1. KTAニュースと共に配布されていた小冊子、トーナメントガイドは廃止となります。代わりに協会ホームページにて掲載いたします。
2. 10歳以下の選手が14歳以下、16歳以下、18歳以下の種目に出場することは出来ませんが、ポイントは付きませんので再度ご確認ください。

お
し
道
造

ダンロップ
テニスボール・アドバイザースタッフ
松岡修造



トーナメント品質。

信頼に応え続けるスタンダードな試合球。

半世紀以上に渡り、数多くの国内主要大会で使用されているスタンダードな試合球。どのボールも同じ性能と感覚でプレーができる卓越した均一性を実現し、いつの時代も変わることのないマイルドな打球感と優れた耐久性で、プレイヤーの信頼に応え続ける高品質なロングセラーボールです。

プレッシャーライズド テニスボール
FORT(フォート)

2ヶ入缶 / 1ヶ缶(30缶) オープン価格
カラー: イエロー
国際テニス連盟公認球 / 日本テニス協会公認球
MADE IN THAILAND

APPROVED BY J.T.A. **ITF**
Approved



国際大会を支えるスピードタイプの試合球。

上海マスターズや楽天オープンをはじめ、国際大会を中心に使用されている試合球。ボールの均一性を限界まで追求した「フォート」のDNAを受け継ぎ、コントロール性や打球感を犠牲にすることなく、スピード感と軽快なフィーリングを同時に実現した高品質なスピードタイプボールです。

プレッシャーライズド テニスボール
SRIXON(スリクソン)

2ヶ入缶 / 1ヶ缶(30缶) オープン価格
カラー: イエロー
国際テニス連盟公認球 / 日本テニス協会公認球
MADE IN THAILAND

APPROVED BY J.T.A. **ITF**
Approved

